

1

次の取引の仕訳を示しなさい。ただし、商品に関する勘定は3分法によること。

- 北海道商店から商品 ¥700,000 を仕入れ、代金は掛けとした。なお、引取運賃 ¥14,000 は現金で支払った。
- 得意先東西商店が倒産し、同店に対する売掛金 ¥120,000 を貸し倒れとして処理した。ただし、貸倒引当金勘定の残高が ¥80,000 ある。
- 岩手商事株式会社の株式10株（1株の帳簿価額 ¥90,000）を1株につき ¥95,000 で売却し、代金は小切手で受け取った。
- 従業員の出張にあたり、旅費の概算額として ¥30,000 を現金で渡した。
- 宮城商店から、商品代金として受け取っていた同店振り出しの約束手形 ¥250,000 を取引銀行で割引き、割引料 ¥2,000 を差し引かれた手取金 ¥248,000 は当座預金とした。
- 青森市役所から固定資産税の納税通知書を受け取り、ただちにこの税額 ¥170,000 を現金で納付した。

2

福島商店の下記の取引について、

(1) 仕訳帳に記入して、総勘定元帳の買掛金勘定に転記しなさい。

(2) 仕入帳・買掛金元帳に記入して、締め切りなさい。

ただし、i 商品に関する勘定は3分法によること。

ii 仕訳帳の小書きは省略する。

iii 元丁欄には、買掛金勘定に転記するときだけ記入すればよい。

取 引

1月 7日 秋田商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

A 品	500個	@ ¥300	¥150,000
B 品	700 "	" " ¥450	¥315,000

8日 秋田商店から仕入れた上記商品の一部に品違いがあったので、次のとおり返品した。なお、この代金は買掛金から差し引くことにした。

A 品	20個	@ ¥300	¥6,000
-----	-----	--------	--------

15日 群馬商店に次の商品を売り渡し、代金のうち ¥130,000 は同店振り出しの小切手 #14 で受け取り、ただちに当座預金に預け入れ、残額は掛けとした。

A 品	200個	@ ¥400	¥80,000
B 品	400 "	" " ¥650	¥260,000

23日 山形商店から次の商品を仕入れ、代金の一部については、下記の約束手形 #11 を振り出して支払い、残額は掛けとした。

C 品	800個	@ ¥600	¥480,000
-----	------	--------	----------

No. 11 約束手形	
山形県山形市あかねヶ丘1-9-1 山形商店 山形 一郎 殿	
収入 印紙 200円 福島	金額 ¥300,000
上記金額をあなたまたはあなたの指図人へこの約束手形と引き替えにお支払いいたします	
平成 ○ 年 1 月 23 日	
振出地 住所 福島県福島市丸子字辰之尾1	
振出人 福島商店	
福島 太郎 (福島)	
支払期日 平成 ○ 年 3 月 23 日	福島 0701 0149-007
支払地 福島県福島市	
支払場所 株式会社 全商銀行福島支店	

28日 山形商店に対する買掛金の一部 ¥100,000 を、小切手 #17 を振り出して支払った。

3

栃木商店の次の取引を入金伝票・出金伝票・振替伝票のうち、必要な伝票に記入しなさい。ただし、不要な伝票は空白のままにしておくこと。

取 引

1 月 20 日 日光郵便局で郵便切手 8,000 を買い入れ、代金は現金で支払った。(伝票番号 No. 15)

〃 日 千葉商店から商品陳列用ケース 370,000 を買い入れ、代金は月末に支払うことにした。
(伝票番号 No. 18)

4

次の各問いに答えなさい。

- (1) 定額資金前渡法を採用している埼玉商店の次の勘定記録と当座預金出納帳から、(ア)と(イ)の金額を求めなさい。ただし、限度額を 500,000 とする当座借越契約を結んでいる。

		小 口 現 金		
1/1	前期繰越	40,000	1/31	諸 口 37,000
31	当座預金	()		

当 座 預 金 出 納 帳

平成 〇年	摘 要	預 入	引 出	借 また 貸	残 高
/ /	前 月 繰 越	180,000		借	180,000
8	川越商店から商品仕入れ 小切手 #35		(ア)	貸	20,000
14	所沢商店に商品売り上げ	270,000		借	250,000
31	小口現金の補給 小切手 #36		()	〃	(イ)
〃	次 月 繰 越		()		
		()	()		

- (2) 次の文の [] のなかに、適当な金額を記入しなさい。

茨城商店の期首の資産総額は 3,750,000 であり、期末の資産総額は 4,060,000 負債総額は 1,920,000 であった。なお、この期間中の収益総額は 8,100,000 当期純利益が 470,000 であるとき、費用総額は [ア] で、期首の負債総額は [イ] である。

- (3) 次の各文の [] のなかに、下記の語群のなかから、もっとも適当なものを選び、その番号を記入しなさい。

- a. 売掛金勘定に対する貸倒引当金勘定のように、ある勘定の金額を修正する性質をもつ勘定を [ア] という。
b. 簿記上の取引は、すべて主要簿に記帳される。この主要簿には、すべての取引を発生順に記入し、経営活動の歴史的な記録をする [イ] と、すべての勘定口座を集めた総勘定元帳がある。

1. 売 上 帳 2. 評 価 勘 定 3. 棚 卸 表 4. 統 制 勘 定 5. 仕 訳 帳

5

神奈川商店（個人企業 決算年/回 12月31日）の決算整理事項は次のとおりであった。よって、

- (1) 精算表を完成しなさい。
(2) 貸倒引当金勘定・売上勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。ただし、日付・相手科目・金額を記入すること。

決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 610,000
b. 貸 倒 引 当 金 売掛金残高の2%とする。ただし、差額を計上する方法によること。
c. 備品減価償却高 90,000 (直接法によって記帳している。)
d. 現金過不足勘定の 8,000 は雑益とする。
e. 引出金勘定の 27,000 は整理する。

1

	借方	貸方
a		
b		
c		
d		
e		
f		

2 (1)

1

[illegible]

金 掛 買

15

[illegible]

(2) (注意) 仕入帳・買掛金元帳は締め切ること。

1

[illegible]

1

[illegible]

2

平成 〇年	摘 要	借 方	貸 方	借ま た は 貸	残 高
/ /	前月繰越		190,000	貸	190,000

試 験 場 校	受 験 番 号

3級の1得点

3

入金伝票 平成○年 月 日 No. _____			
科目		入金先	殿
摘要		金額	
合 計			

出 金 伝 票		No. _____	
平成○年 月 日			
科目		支 払 先	殿
摘 要		金 額	
合 計			

振 替 伝 票 平成〇年 月 日 No. _____																			
勘 定 科 目					借 方					勘 定 科 目					貸 方				
合 計										合 計									
摘要																			

4

(1)	$\mathcal{A}$	$\mathcal{I}$
	$\mathcal{F}$	$\mathcal{F}$

(2)

$\mathcal{T}$	$\mathcal{I}$
$\mathcal{F}$	$\mathcal{F}$

(3)

ア	イ

5

(1)

精 算 表

平成○年/2月3/日

[illegible]

- (2) (注意) i 売上勘定の記録は、合計額で示してある。
ii 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

貸 倒 引 当 金		4
6/20 売 掛 金	17,000	1/1 前期繰越 40,000

売	上	12
150,000	9,832,000	

試 験 場 校	受 験 番 号

3級の2得点

総 得 点

1	借 方	貸 方
a	仕 入 714,000	買 掛 金 700,000 現 金 14,000
b	貸 倒 引 当 金 80,000 貸 倒 償 却 (または貸倒損失) 40,000	売 掛 金 120,000
c	現 金 950,000	有 価 証 券 (または売買目的有価証券) 900,000 有 価 証 券 売 却 益 50,000
d	仮 払 金 30,000	現 金 30,000
e	当 座 預 金 248,000 手 形 売 却 損 2,000	受 取 手 形 250,000
f	租 税 公 課 (または固定資産税) 170,000	現 金 170,000

2 (1) 仕 訳 帳 1

平成 〇年	摘 要	元 手	借 方	貸 方
/ /	前期繰越高	✓	5,720,000	5,720,000
7	(仕 入)		465,000	
	(買 掛 金)	15		465,000
8	(買 掛 金)	15	6,000	
	(仕 入)			6,000
15	諸 口 (売 上)			340,000
	(当 座 預 金)		130,000	
	(売 掛 金)		210,000	
23	(仕 入) 諸 口		480,000	
	(支 払 手 形)			300,000
	(買 掛 金)	15		180,000
28	(買 掛 金)	15	100,000	
	(当 座 預 金)			100,000

総 勘 定 元 帳 15

買 掛 金

平成 〇年	摘 要	仕 手	借 方	平成 〇年	摘 要	仕 手	貸 方
1 8	仕 入	1	6,000	/ /	前期繰越	✓	3,10,000
	当座預金	"	100,000	7	仕 入	1	465,000
				23	仕 入	"	180,000

(2) (注意) 仕入帳・買掛金元帳は締め切ること。

仕 入 帳 1

平成 〇年	摘 要	内 訳	金 額
1 7	秋田商店 掛け		
	A 品 500個 @ ¥300	150,000	
	B 品 700 " " ¥450	315,000	465,000
8	秋田商店 掛け戻し		
	A 品 20個 @ ¥300		6,000
23	山形商店 約手・掛け		
	C 品 800個 @ ¥600		480,000
31	総 仕 入 高		945,000
"	仕 入 戻 し 高		6,000
	純 仕 入 高		939,000

買 掛 金 元 帳

秋 田 商 店 1

平成 〇年	摘 要	借 方	貸 方	借 または 貸	残 高
/ /	前月繰越		120,000	貸	120,000
7	仕 入 れ		465,000	"	585,000
8	仕 入 戻 し	6,000		"	579,000
31	次月繰越	579,000			
		585,000	585,000		

山 形 商 店 2

平成 〇年	摘 要	借 方	貸 方	借 または 貸	残 高
/ /	前月繰越		190,000	貸	190,000
23	仕 入 れ		180,000	"	370,000
28	支 払 い	100,000		"	270,000
31	次月繰越	270,000			
		370,000	370,000		

3

入金伝票					No. _____
平成○年 月 日					
科目	入金先	金額			
摘要					
合 計					

出金伝票					No. 15
平成○年 1 月 20 日					
科目	通信費	支払先	金額		
摘要					
郵便切手買い入れ			8	0	0
合 計			8	0	0

振 替 伝 票												No. 18							
平成○年 1 月 20 日																			
勘 定 科 目				借 方				勘 定 科 目				貸 方							
備 品				3	7	0	0	0	0	未 払 金				3	7	0	0	0	0
合 計				3	7	0	0	0	0	合 計				3	7	0	0	0	0
摘要		千葉商店から商品陳列用ケース買い入れ 月末払い																	

4

(1)

ア	イ
¥ 200,000	¥ 213,000

(2)

ア	イ
¥ 7,630,000	¥ 2,080,000

(3)

ア	イ
2	5

5

(1)

精 算 表

平成○年/2月3/日

勘定科目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	642,000						642,000	
当座預金	1,285,000						1,285,000	
売掛金	1,750,000						1,750,000	
貸倒引当金		23,000		12,000				35,000
繰越商品	590,000		610,000	590,000			610,000	
備品	630,000			90,000			540,000	
支払手形		832,000						832,000
買掛金		1,036,000						1,036,000
前受金		72,000						72,000
資本金		2,600,000	27,000					2,573,000
引出金	27,000			27,000				
売上		9,682,000				9,682,000		
受取手数料		104,000				104,000		
仕入	6,791,000		590,000	610,000	6,771,000			
給料	1,512,000				1,512,000			
支払家賃	960,000				960,000			
水道光熱費	157,000				157,000			
雑費	13,000				13,000			
現金過不足		8,000	8,000					
	14,357,000	14,357,000						
貸倒償却			12,000		12,000			
減価償却費			90,000		90,000			
雑益				8,000		8,000		
当期純利益					279,000			279,000
			1,337,000	1,337,000	9,794,000	9,794,000	4,827,000	4,827,000

- (2) (注意) i 売上勘定の記録は、合計額で示してある。
ii 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

貸倒引当金				4
6/20 売掛金	17,000	1/1 前期繰越	40,000	
12/31 次期繰越	35,000	12/31 貸倒償却	12,000	
	52,000		52,000	

売 上				12
	150,000		9,832,000	
12/31 損益	9,682,000			
	9,832,000		9,832,000	

(貸倒償却は、貸倒引当金繰入でもよい。)